

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会
460-0017 名古屋市中区松原 1-17-6 朝日軒ビル3階

HD ニュース

No. 65
2018.10.18

今後の予定／於：事務所会議室

- 10月16日(火)18:00～ 相談委員会
- 10月18日(木) 木造技術研究会はお休みです
- 10月21日(日)・22日(月) 研修旅行(滋賀方面)
- 11月1日(木)18:00～ 三役会
- 11月15日(木)18:30～ 木造技術研究会
- 11月20日(火)18:00～ マンション・ビル大規模修繕研究会

イマドキ・ドキドキの家づくり

副理事長 森 登

藤森照信・ふうの建築??藤森・調の建築??
サツキとメイの家みたいな～??

知り合いの大工・棟梁から相談を受けた。
建築主が、追加工事費を支払ってくれない。
それどころか、一つ一つの納まりにクレームをつ
けてくる。
設計監理者は、途中で逃げ腰で、一切関知せず、
を貫いている。
全て大工・棟梁の判断にゆだねている。

それって、つまり、頭イイ・・・ってことですヨ。
設計監理費用は、全額支払い済み。
設計監理料が高いこと、すでに支払ってしまった
ことに、建築主は疑念を抱いている。
そのしわ寄せが大工・棟梁に来ている
ということだった。設計図を見た。

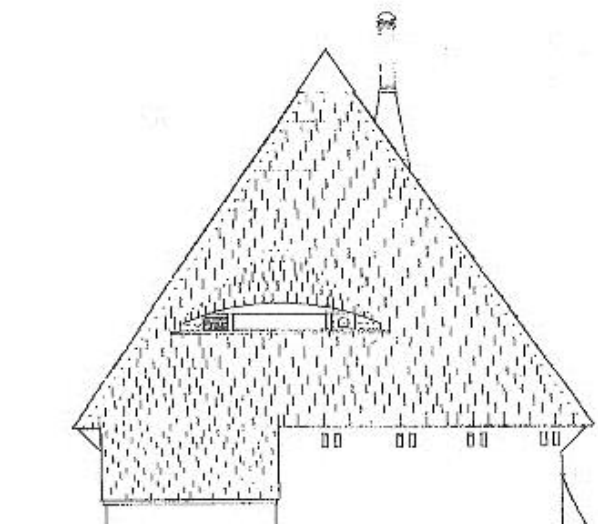
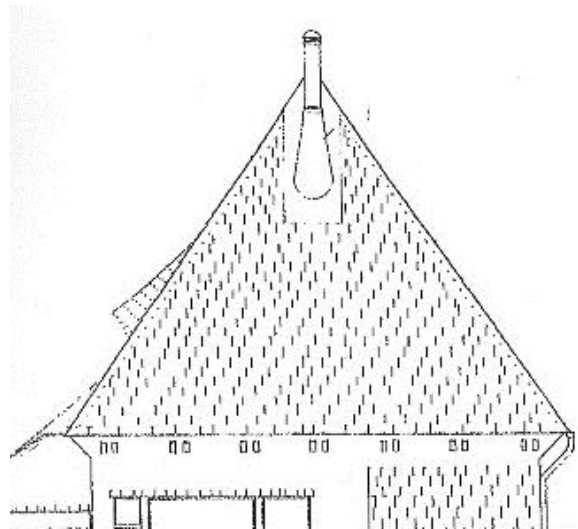
何?この形、何?この仕上げ、何?この図面、ど
うなってんの?この仕様、なんで?そもそも何で
こんな仕事受けるの・・・

建設地は三重県内のリゾート地に「似た」エリア。
「コテージの新築工事」ということで、いわゆる「別
荘建築」を建てた。いや「別荘建築」というより、
ジョウダン建築に近い・・・?或いは、サツキとメ
イの家のようなメルヘン建築に近い・・・?

そんなレベルだ。インスタ映えする・・・・・・。
設計監理者のホームページからは、オーガニックが
伝わってくる。インスタ映えした写真がいっぱ
い・・・・・・ふんぷん匂う。

実際のところは、素人には見えない、読めない、判
らない。けど、いい感じ・・・・・・といったところ。
・屋根はレッドシダーのシングル葺きで、シングル1
枚ごと裏側にアスファルトルーフィングを敷き込
むことになっている・・・・・・。

- ・屋根の水上あたりには、暖炉の煙突が立ってい
る・・・・・・。
- ・開口部は木製・・・・・・、外壁は白の漆喰・・・・・・。



- ・屋根には、3次元の曲面屋根が付いたハイサイドラ
イト・・・・・・。
- ・軒先に雨樋ナシ、軒裏は外壁側にテーパーで
す・・・・・・。
- ・立面図からは、オーガニックが読み取れます、さ
すが・・・・・・。

- 一方詳細図面が無い、構造伏図・軸組図・展開図はありますが、
- ・特記仕様書が無い。
- ・矩計図が無い。
- ・ディテールが無い。
- ・原寸図が無い。
- ・どうやって作り込むかの図面が無い？空間を造る為に・カタチを造る為に、必要となる図面が無い……。
- ・雨漏れをどうやって防ぐのでしょうか。

- ・すき間風をどのように防ぐのでしょうか。
 - ・外装材の劣化に対し、誰が、どのように付き合っていくのでしょうか。
 - ・レッドシダーから出た木のアクで、外壁は汚れっぱなし。除去しても、すぐアクが付く……。
 - ・建物の劣化スピードをゆるくする方策を、どう担保しているのでしょうか。
- 現場に姿を見せず、指示も出さず、建築は作れない。世間一般には、このような設計者も、私たちと同類の「建築士」です。

研修会「笥家住宅・向野橋見学会」レポート

研修会委員長 津島勝弥

台風24号が接近する9月29日（土）午後、名古屋市内はどちらかというと暴風圏内に入った翌日未明よりも大雨となった悪天候の中、名古屋駅からほど近い中村区下米野にある「笥家住宅と向野橋」の見学研修会を実施しました。

10分前に現地集合としましたが、笥家のある米野地区は、市内有数の木造密集地で道も狭く、更に“笥”住宅が周りに多いので、いきなり訪ねるとまず迷うと言われています。そのため、事前の案内で近鉄の利用列車を指定し米野駅まで出迎えることにしました。迷子もなく時間通り、研修会は9人の参加でした。

笥姓は、元々は大阪の秀吉に仕えていた一族で、笥清澄さんは8代目当主となるそうです。そして彼は建築士で、登録文化財の所有者や支援者でつくる愛知登文会あいちとぶんかい(※1)での活動や、“折り紙建築”というたための立体建物模型をシリーズ化して発表しています。また、先代の笥鉦一さん（故人）は大倉流太鼓方の能楽師であり、昭和53年に重要無形文化財「能楽」保持者に認定された方です。

見学会は、登録有形文化財となった主屋の座敷に招かれ、笥清澄さん手作りのボードで解説を聞きま

した。座敷は籐の床敷きや葦戸よしずど（夏向きの建具）となっていて心地よく、床の間と座敷から見る「雨に濡れる庭」の眺めを満喫しました。

笥家住宅は、明治24年濃尾地震で被災しました。この痕跡（地割れ）が納屋の床下に残っているということですが、事務所に使用しており非公開なので、写真で見せてもらい、また、四つ建ての柱の金輪継ぎや、転用材の“ほぞ穴”などが見られました。

解説は、構造様式・履歴・文化財登録までの名古屋市の顛末など主屋についてが主体でした。その他、米野地区（笥瀬川、社寺）と笹島地区の歴史のこと・折り紙建築のことについてなど。さらには、雨天なので、後から見学する向野橋についてもこのまま座敷で説明と、笥氏の想い入れが詰まった話を聞きました。



その後、私たちは別棟に移動しました。納屋を改造した建物で、土曜日には子供能楽教室を行っていて、私たちも能楽体験をさせていただきました。能を舞う際の扇子の広げ方を教わりましたが、結構硬くむずかしく、開け閉じはぎこちないものでした。

実際の能面をつける体験では、その視角の狭さで動きまわる（舞う）ことの大変さを少しだけ体験し



中央立ち姿勢が、笥清澄さん

ました。また、鼓を実際に打たせてもらったあと、娘さんの陽華さん（小学5年生）の「鼓ばやし」で寛さんの謡いを聴くなど、たのしい能楽の体験教室となりました。

ちなみに、能楽で、鼓の音や叩き方を前もって合わせておくことを「打合せ」といい、皆さんは、日ごろ使う「打合せ」はこれが発祥であることを知っていましたか？。さらに、五人囃子の並び順、おひなさまの男女の並ぶ位置などについて教えていただきました。

座学と体験を終えて、次に向野橋（中村区長戸井町一中川区百船町）へ行きました。雨が恨めしかったのですが、このトラス橋は耐震性に乏しいとの理由で車両通行止めとなっています（映画やドラマの撮影時以外は、見学できます）。安全なので是非一度

お出かけください。

橋は明治32年の米国製で、京都の保津川橋梁の架け替えの際、この地に移築されたものです。橋の下はJR東海名古屋車両区となっていて、20本近くの線路があり、その中に関西線とあおなみ線も走っています。この間120m弱の幅、これらの鉄道線路を一気に跨いでいます（近鉄線の部分も向野橋の一部となっています）。見学会の案内にも書きましたが、名古屋駅の高層建物と米野地区の木造屋根のコントラストや、夕景夜景は絶景です。

見学会はここまでで、端からの眺めを満喫した後、ささしまライブを散策して解散しました。

※1 愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会／登録有形文化財(建造物)の保存活用を進めるための活動をしている。

「あいち住まいるフェア2018」セミナー・相談会を開催

事務局

10月11日(木)・12日(金)・13日(土)に名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）で開催された「あいち住まいるフェア2018」にて、セミナーと相談会を開催しました。

セミナーでは、11日に津島勝弥氏・後藤文俊氏の両建築士による『リフォームこそ設計と監理が大切』を、13日に森登氏・瀨瀬誠氏・浅井洋樹氏 三名の建築士による『あつてはならない！倒れるブロック壁・ブロック擁壁』の表題にて講演を行いました。

展示ブースでは、事業案内のチラシ配布・パネル展示と、一般向けの「住まいの相談会/熊本・大阪・北海道地震 あなたの家はだいじょうぶ？」を行い、12名の住まい相談に対応しました。

来年も今回同様に参加の意思表示を主催者に表明しました。次回こそ、主催者から「是非お願いします」と言われるように引き続きがんばりましょう。

来年も今回同様に参加の意思表示を主催者に表明しました。次回こそ、主催者から「是非お願いします」と言われるように引き続きがんばりましょう。



■理事会 9/13 18:00~19:00

通常総会の資料の確認

■第14期通常総会 9/13 19:00~20:00

第1号議案 第14期事業および収支決算報告

第2号議案 第15期事業および収支計画

第3号議案 その他

- ① あいち住まいるフェアについて
- ② 既存住宅調査技術部会の運営について
- ③ 技術研修会の改善について
- ④ 研修旅行について

■研修会 9/29 14:00~17:00

国登録有形文化財（建築物）寛家住宅主屋、名古屋市地域建造物資産認定の向野橋（旧山陰本線保津川橋梁）見学。終了後、懇親会。

■相談委員会 10/11・12・13 10:00~17:00

「あいち住まいるフェア2018」にて、セミナーと相談会を開催。

